

平成29年度「一日財務行政モニター」開催概要

北見出張所では、地域高校のキャリア教育、進路指導等の取組と連携することにより、「若い年齢の段階から財政の問題を正しく理解し、自分の事として考えていただく」ことを目的として、高校生による「一日財務行政モニター」を開催しました。

市内3校5名の生徒を一日財務行政モニターに任命し、北見出張所の業務内容を紹介するとともに、財政の現状等について説明し、その後は当所若手職員との意見交換会を実施しました。

1. 日時

平成30年3月28日（水）10：00～12：40

2. 実施内容

10：00～ 一日財務行政モニター委嘱状交付

北見市内の高校生5名に対して、橋本北見出張所長から委任状が交付されました。



10：10～ 当所からモニターへの説明

北海道財務局の業務、日本の財政状況、金融の働きについて、職員から説明を受けました。



11:20～ 意見交換会

財政等に関する疑問や意見のほか、公務員の仕事など高校生モニターの興味・関心事項について、当所の若手職員4名と意見交換を行いました。



意見交換では、

- ・ 少子高齢化が問題になっている中、少子化対策や生活保護、介護に充てられる費用をもっと増やした方が良い。
- ・ 国の予算から医療費を減らすと、自分たちの負担が増えるので困る。たばこは体に悪いし、そこから税金を増やしたらどうか。

などの財政全般に関する意見のほか、

- ・ 積雪が多いときは、道路整備の費用を除雪費用に回せるようにできないか。

といった公共事業費の支出などに関する意見が出されました。



また、意見交換後の昼食会では、今回の「一日財務行政モニター」について、

- ・ 財政について知らなかったことが映像を見て理解できたので、言葉（説明）だけでなく映像があって良かった。
- ・ 金融機関に就職を志望しているが、金融機関では具体的に何をしているのかわからないこともあった。この機会に聞いて少しでもわかったのが良かった。

といった感想が挙げられました。

3. その他

当日はマスコミ（新聞社）が取材に訪れ、後日、当日の様子が報道されました。

4. 最後に

「一日財務行政モニター」に参加いただいた高校生皆さんからは、前述のとおり、おおむね好意的な意見をいただきましたが、「意見交換の時間が短い」「より活発な意見交換とするためには、事前に具体的なテーマを設定した方が良い」など、貴重な意見もいただいております。

このような貴重な意見を参考に、今後とも「一日財務行政モニター」が、参加いただく高校生皆さんにとって有意義なものとなるよう、実施内容の工夫や見直しを検討していきます。